



Brush up Program
for professional

文部科学省認定「職業実践力育成プログラム」

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。

自治医科大学大学院看護学研究科実践看護学分野の専門看護師をめざす場合の履修(小児看護学、母性看護学、クリティカルケア看護学、精神看護学、がん看護学)は、臨床経験のある看護師・助産師を対象に高度実践職業人を養成する2年間のプログラムです。平成20年に小児看護、母性看護、クリティカルケア看護、精神看護で、平成22年にがん看護で専門看護師教育課程としての承認を得ています。また平成26年度に38単位の教育課程に移行しています。すでに30名が各領域の専門看護師として活躍しています。

教育課程の概要

○共通科目Aとして、「看護管理政策論」(必修)、「看護倫理」「看護実践研究論」「看護継続教育論」「コンサルテーション論」(うち3科目を選択)を準備しており、専門看護師のコンサルテーション、コーディネーション、教育、研究、倫理調整等の基礎的能力の修得を目指しています。

○共通科目Bとして、「病態生理学特論」「フィジカルアセスメント特論」「臨床薬理学特論」(必修)を準備し、高度看護実践につながる能力の育成に努めています。

○各領域の専門科目では、講義、演習、専門看護実習を準備し、領域の特殊性を考慮し、専門看護師としての基礎的能力の育成に努めています。

得られる学位・資格

修士(看護学)

小児看護専門看護師

母性看護専門看護師

急性・重症患者看護専門看護師

精神看護専門看護師

がん看護専門看護師



自治医科大学大学院看護学研究科